様式2

平成28年8月22日

平成28年度　評価計画及び自己評価

（ 計画 ・中間・ 最終 ）

広南中学校区　校番　2　学校名　　呉市立広南中学校

a　学校教育目標	<広南学園> 自立に向かって 主体的に生きる 「学び」と「ありがとう」 の日本一を目指して	b　経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 （学校の使命）	大きな夢と志を持ち， 社会に貢献する人材を育成する
			〈ビジョン〉 （将来の学校像）	○深い学びの精神と感謝の気持ち，社会貢献への気概をもつ児童生徒を育て，地域から信頼される学校 ○地域文化の拠点として地域の活性化に貢献する学校

c　中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点	広南中学校（広南学園）としてスタートして5年目を迎える。校訓など学校のもつ伝統と文化・地域性を基盤として，今年度は「**未来を創る**」をキーワードに，「**課題発見・解決**」また「**協働・探究**」の視点からの教育活動全体の改善をすすめ，礼節・挑戦に加え，新しい価値を生み出せる創造性を校風として位置づける教育活動を展開することで，「学びの変革パイロット校」として生徒のコンピテンシーを育むモデル校として研究を推進し、地域へ発信する。

評価計画（中期経営目標を設定してから　1　・　②　・　3　年目）						自己評価					
重点	d 中期（3年間） 経営目標	e 短期（今年度） 経営目標	f 目標達成のための方策 （こんなことをして達成します）	g　指標 （効果を見とる目安）	h 目標値	9　月			2　月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★ 確かな学力の育成	貫 義務教育9年間を見通した学力を育成する	「課題発見・解決学習」を手がかりとした授業改善	・課題発見・解決学習の指導案の開発（各教科1・総合的な学習の時間1） ・単元末評価活動の充実	生活と学習に関するアンケートの「課題発見・解決学習」の肯定的評価	70%	85%	121%	A			
		読書活動の充実	・論語写し等の継続 ・読書貯金の継続 ・ビブリオトークの継続 ・教師によるブックトーク活動	生活と学習に関するアンケート「読書習慣」の項目の肯定的評価	70%	73%	104%	A			
★★ 豊かな心健やかな体の育成	礼節と挑戦心を身につけ，体力づくりに主体的に取組む生徒を育成する	貫 広南しぐさ・生活習慣の改善指導の徹底	・生徒会活動の充実による自律的な校風づくり	・生徒アンケート「4項目」に係る肯定的評価	90%	93%	103%	A			
		体力の向上	・体力強化キャンペーンの実施（2回） ・体育の授業・部活動でのメニュー改善	・50m走・立ち幅跳・長座体前屈の項目で昨年度より上回る生徒の割合	90%	85%	94%	B			
		挑戦心の高揚	・「勇気づける声かけ」の実践 ・資格習得「トリプル3」 ・表彰等の活用	・生徒アンケート「挑戦意欲」に係る肯定的評価	80%	86%	108%	A			
★ 信頼される学校	貫 地域に貢献し活力を生み出す学校をつくる	生徒の地域貢献の達成感	・総合的な学習の時間での地域貢献活動PROJECT ・ボランティア活動の充実	・生徒アンケート「地域に貢献した」肯定的評価の割合	90%	95%	106%	A			
		PTAの参加の機会の充実	・土曜参観日を年3回に増やすとともに，PTCレクレーションの企画など参加意識を高めるエ夫をする。	・保護者アンケート「参観日，学校行事に年3回は参加した」肯定的評価の割合	90%	3学期に評価					
		地域発信力の充実	・HP・学校便り・学年だより・保健だより（月1回以上の発信） ・メディア（新聞・TV）で「ひろみなみ」の魅力を伝える（3回）	・保護者アンケート「学校は地域への情報発信に努力している」肯定的評価	100%	100%	100%	A			

【k：評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60

様式3

平成28年9月21日

平成28年度　結果の分析及び今後の改善策

（ 中間・最終 ）

広南中学校区　校番　2　学校名　呉市立広南中学校

重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（1年間）経営目標	l 結果の分析（結果と課題をこう考えます）	m 今後の改善策（案）（こう改善します（案））
★★★	（貫）義務教育9年間を見通した学力を育成する	「課題発見・解決学習」を手がかりとした授業改善	挑戦問題の設定や6つの資質・能力を意識した授業展開や評価を行うことで，「課題発見・解決学習」のすべての項目について，目標を達成することができた。特に，「課題の設定」や「総合的な学習の時間」における情報収集，整理・分析・発表等の学習活動は，95％以上の肯定的評価を得ている。また，5分間の振り返り時間を意識した授業改善にともない，「学習の振り返り」の項目も80％以上の肯定的評価を得た。しかし，学年別の結果では，「情報収集」，「整理・分析」「まとめ・創造・表現」の項目において目標が達成できていないので，学年実態に応じた取組が必要と考える。	教科と総合的な学習の時間における「課題発見・解決学習」の単元づくりを進め，6つの資質・能力についてのルーブリックによる評価の活用を進めていく。また，図・グラフ・表の活用を意識させる授業や，自分の考えを積極的に伝える場を設定すること，さらに，課題解決のために必要な資料を自分で収集したり，取材したりする場を学年の実態を把握して上で授業改善を実施していく。
		読書活動の充実	各学年，読書活動が充実してきているのは，総合と国語の時間にビブリオトークを実施したり，図書委員会で，ブックトークを2回開催（1回目のテーマは「夢」2回目のテーマは「夏」）したことが大きく影響していると考えている。ブックトークでは，参加者も多く，図書委員も意欲的に取り組んだ。また，読書ノートには，保護者との本に関する会話を増やすきっかけとするために，保護者のサインを記入してもらう形式にすることにより，保護者への啓発もできている。担任からの声かけにより，提出率も高く，生徒への意識付けが行われている。	図書委員会活動の中で「ブックトーク」を根付かせ，さらに，図書室の来館者を増やす狙いで，「図書館祭り」を計画している。また，保護者への発信をさらに増やし，生徒の読書活動に関心を持ってもらうようにする。また，国語科で1分間スピーチを行う。
★★	礼節と思いやりを誇り，体力づくりに主体的に取組む生徒を育成する	（貫）広南しぐさ・生活習慣の改善指導の徹底	生徒会執行部が中心となり，学校生活の様々な課題について，全校生徒に提案を行っている。特に時間を守るやあいさつについては肯定的評価が高い。しかし，執行部以外の生徒が積極的に考え活動することが少なく，言われたことをやっているという傾向がみられる。	・生徒会執行部だけでなく，各クラスや部活などからの広南しぐさについての積極的な取組を作っていく。
		体力の向上	「50m走」「立ち幅跳び」については約90％の生徒が昨年の記録を上回っている。これは50m走や立ち幅跳びは生徒が競ってトライする傾向が数値が高まっていると考えられる。長座体前屈が昨年の記録を上回っている生徒は76％にとどまっている。柔軟性については生徒の競い合う意識が低く，近年では数値が高い傾向にあった女子生徒も低い傾向がでてきている。	・柔軟性を高める運動を体育授業や部活のウオーミングアップでしっかり取り入れる。 ・結果のでていない生徒に個別指導をしていく。
		挑戦心の高揚	教科の学習や総合的な学習の時間での挑戦問題への取り組みや，自分や仲間とともに解決する経験の積み重ねにが，学習への充実感や新しく知識を得る喜びにつながったと考えらえる。	・さらなる単元開発，行事や日々の取り組みの中での課題発見解決の場の設定や意識づけを行う。 ・引き続きトリプル3を目指した資格取得・検定挑戦を呼びかける。 ・生徒の頑張りを表彰するなどして，モチベーションを高める。
★	（貫）地域に貢献し活力を生み出す学校をつくる	生徒の地域貢献の達成感	文化活動発表会や総合的な学習の時間，地域清掃のボランティア活動などを，この2年（3年）間積極的に行った成果である。2学期に向けて，地域に発信する様々な活動が行われるため，3年生の達成感も上昇することが期待される。	・地域清掃ボランティアなどの活動を学校全他のものだけに限らず部活やクラスなど本当に自発的な活動の取り組みを行っていく。 ・特に3年生については文化活動発表会での活動を生徒の自主的な活動を中心にし達成感を持たせていく。
		PTAの参加の機会の充実	本年度は，学校行事，とりわけ参観日等の出席率の向上を目指し，年度当初，保護者との初の顔合わせであるPTA総会及び第1回参観日を休日開催とした。本年度初の参観ということで，例年の平日開催よりも出席率(H27:64%→H28:85%）が大幅に向上し，PTA総会も大変盛り上がり，保護者からも休日開催への賛同の意見が多かった。	・今後は，10月の文化活動発表会はもとより，10月21日（金）の広南学園芸術鑑賞会「オペレッタ（文化庁主催事業指定）」，11月6日（日）には，県教委の施策「学校へ行こう週間」に併せ，生徒・保護者・教職員の絆を深めるべく，「PTCレクレーション」の開催等，魅力ある行事を計画し，学校行事への参加率の向上を目指す。
		地域発信力の充実	学校だより，保健だよりは月1回，学年通信は月1回以上発行できた。また，HP・安心ネットは月2回以上更新し，閲覧率の大幅に向上している。このような意欲的な情報発信が功を奏し，1学期末保護者アンケートの肯定的評価も100％という結果が出た。一方，メディアでは，5月の「自転車交通安全教室」の様子が，新聞・TVで報道された。	・今後も，各種たよりの定期的且つ意欲的な発行と，HPでは，学校行事での生徒の様子を写真等を多用して閲覧率の向上を図るとともに，地域発信力の充実を図る。また，メディアにおいても，第2学年の「起業企画」等，TVを通したPRを計画中である。

様式４

平成28年10月7日

平成28年度　　学校関係者評価及び改善策

（ 中間・最終 ）

広南中学校区　校番　２　学校名　呉市立広南中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	○小中一貫教育校として，小学校と連携した目標（指標）を掲げている点や生徒実態を的確に把握し，小学校への乗り入れ授業，小中合同授業研究等による意欲的な授業改善や情報発信の充実と地域人材の活用等，保護者・地域との密なる連携と協働を意識した目標設定は高く評価できる。
目標達成のための方策の適切さ	A	○生徒の主体的な学びや思考・表現力の向上に向けて，各教科の授業研究はもとより，小中合同授業カンファレンスと授業研究の実施，さらに，読書活動の活性化と表現力の向上を兼ねた「ビブリオトーク」の導入やマネジメントサイクルでの実施・見直しは高く評価できる。さらに，新聞等の活用も考えてほしい。 ○挑戦心の高揚に向けて，各種検定の受検や様々な大会への出品，さらに，郷土愛や自己効力感の高揚に向けて，総合的な学習の時間での地域貢献活動や放課後及び長期休業中を利用したボランティア活動（せとうち海援隊清掃活動）の充実等の方策も適切である。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	○各項目において，各種アンケートや学力調査を基にした詳細且つ妥当性・客観性のある分析がなされており，先生方の教育に対する熱意を感じる。
今後の改善策（案）の適切さ	A	○具体的な改善策が考えられ，適切である。今後も，学校の取組や成果と課題及び改善策を，保護者・地域により一層情報発信し，学校に対する協力体制の強化を図ってほしい。
その他	○「学校だより」にも掲載された第3学年の平和学習「沖縄戦について」は良い取組である。学校評議員にも，戦争を体験された方がおられ，地域の人材活用として今後の平和学習に活かしたい。また，今回の学校評議員の意見を受け，広南学園として，小中9年間を見通した平和学習の指導計画の立案・実施を考えていきたい。 ○授業での生徒の落ち着きや学習態度の良さ，また，指導者の授業のめあての明確化等，的確な指導で雰囲気よく授業が進められていた。また，先生の魅力で生徒を引きつけ，生き生きとした生徒の表情が印象的であった。 ○「学びの変革」パイロット校事業の指定を受け，研究推進を図り，その成果も出ているが，勤務時間の限られた非常勤講師等への研修の工夫も重要である。 ○「体力つくり」は，成長著しい中学生の時期において大変重要であるが，家庭とも連携を図りながら，より効果的な方法を考えてほしい。		

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	○全教科で「習得・活用・挑戦と探究」を常に意識し，習得においては，視覚支援や時間短縮を考慮したICTの有効活用等を，思考力・表現力の育成においては，個人思考から，ペア及び班活動を利用した集団思考・発表につなげるなど，教材・教具の開発や指導方法・授業展開の工夫改善を図る。さらに，各教科で得た学力を「総合的な学習の時間」での探究学習につなげ，課題設定と課題解決に向けた取組の充実を図る。また，「学びの変革」パイロット校として，その研究成果をHP等を通して情報発信し，他校への普及を図る。一方で，授業規律の確立や社会性の育成に向けて，挨拶や返事，立腰，発表の仕方等，教師・生徒の評価方法の工夫による意識の高揚を図りつつ，粘り強い指導を継続する。 ○「総合的な学習の時間」を活用し，第1学年では，落語家口演・指導による「落語」の習得・活用を通して挑戦心・表現力の育成とともに，人を楽しませる喜びを通して自己効力感の向上を，第2学年では，起業家招聘による講話や夏休みの職場体験学習の貴重な経験や知識を基にした「起業プロジェクト」の取組を通して職業観や挑戦心，地域への貢献心の育成を，第3学年では，様々な進路学習を通して進路選択への視野を広げるとともに，より良い未来づくりに向けて自分たちが貢献する方策について提言した「創作劇」を通して表現力の育成や社会の担い手としての挑戦心・使命感の育成を図る。さらに，それらの取組を文化発表会で保護者や地域に披露することで，本校の教育活動に対するより一層の理解と協力を得る。 ○保護者・地域の本校教育活動の理解の深化に向けて，学校行事への参加率の向上を目指し，休日参観の増加や生徒・保護者・教職員の絆を深めるためのPTCレクリエーション等，魅力ある学校行事の創造を図る。また，それらの行事や学校生活の様子を学校・学年・保健だよりの発行やホームページ及びメール配信を通して意欲的に家庭・地域へ発信し，学校教育への協働意識の向上を図る。